政、政友、の面々

保管国け藤倉野頭における版田首 由、山直等院内外部が計画名田路、小を開催を内重回総数、俵、総職、小

れる情勢にあるので、本問題に監

時丸ノ内常盤に新春初の維持官 果京電話。民政黨では八日午前十 酸振りの宮城町観兵式に士干、空里新観機七十は十七 **総行され、 器加県軍一萬一** 思糖助躍塩でいとも亜酸に 陛下の親臨を仰ぎ奉り二

くも大元 八日午前畏

> 御僧傍と元帝室林野局の二 年別九時半には早くも楠公

0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/

王煕尉立を米して抗策をつまけて

0//0//0/

(東京電話) 臓器が経験がある。 生物九時二十分基型に安勝感が強 生物九時二十分基型に安勝感が強 に変点電話) 臓器が起すを必

一般良中央推議の正義圏に分れて

とする東北大學を生は西安事態部

「以來張學良支持の教員館派と反

北平七日同盟一盟學良氏を想長

長推敲のポスター

等に関し政府の方針を説明、深路

百を述べ正年辭去した

安藤幹事長を

翰長が訪問

の解散を主張して學内に中央系譜

**東北大學騷擾** 

師陛下の親臨を仰ぎ奉り

始観兵式は 白きこの日、この未曾有の谷を遺憾なく謎がした、戦 盛能を摂脱せんと民草は町 夜来式場附近に詰めかけ、 ふ莊嚴に擧行さる

在京派遣部隊、河村部隊団式に参加する計断、河十四 市民が溢れた、晴れの観兵にはなほ去りやらぬ敗萬の 千名を蛆めつくして、鬼外 側所の路壁路は定成一萬五 対験等の特鋭は諸兵指揮官

間りなく終る 陣で飛来、 時選首大士将の能かた編隊 四の各飛行隊が配板七十四 外の外側壁はしく、呼び間 が銀版を辿れて高度三百

が代奏業高地を送世に乱乱が代奏業高地を送せに乱乱が代奏業高地を送せては若 公職の方に飛び去つた、か 中に大分列式を行い南方芸 大佐の第三、長沼少将の第三、柴田 くて容臨相談する影響に包

**膝、井下少将の第二、柴田** 光**頭**に白石大佐の第一飛行

吹奏する「戦災式行進曲1の町を北より南に浜濃燥の 機下の御助姿も押された、 朗、列中には江麓中隊長に この間午前十時四十分節 八小院長に在す事舞公前 在字北白川岩水公王、野田 に乗つて堂々分列行進を映 の指揮刀一内、部隊は玉田 脚を立たせ給へば岩越中的 兵の能は終了やがて 陛下 に二重橋町玉座に張然と

川好歌中将壁栗の伽楽機を

行ふこととなった、各道即河川敦 業で金雕二百五十三河川の耽修を 川の敗修は明年度五ヶ年繼野事 **民有火田民** 

#### 関語八千名も威儀を正して 経額軍人将技条政等特別時 任額軍人将技条政等特別時 順用、企色胶ゆきばかりの章本綴以下数多の動章を調 位頭花潭頭師功一級金四點 る、午町十時 大元帥時下 陛下の規範を加替ち申上げ 年削九時半には武場の周邊 には陸軍様式側正接に大助 脚が床の如く整列、各間 着、紫越苗兵指伸官の奏上と大内山にこだまして繋ぎと大内山にこだまして繋ぎと大内山にこだまして繋ぎと大内山にこだまして繋ぎ 正、市信、野政治師、野郎、時前の進ませ給ふところ歩、 門外の近歩一蔵開を始め棚間兵を開始返ばされ、阪下 巻刀、順次に頭き起る君が 兵、帽頂各様は一海に接続 を受けさせられ、直もに御 召され国城御里沿を翻加端

# 休會明け政戰の は切落さる

した、かくて対動用は歌歌の阻離院立を押すべく防墜師を跳めた、受政感覚では同日平町十一時丸2内側を開議を遂げ、歌対館も同日午期十一時より芝三級英に場帯師を開き高端外交励速の取扱い方に触し直要協会を遂げ、歌対館も同日午期十一時より芝三級英に場帯師を開き高端外交励速の取扱い方に触し直要協会という。 では、かくて対動用は歌語とかさと明すべく防墜師と眺めた、受政感覚では同日平町十一時丸2内と、かくて対動用は歌語の阻離院立を押すべく防墜師と眺めた、受政感覚では同日平町十一時丸2内 はこれと開輸して欧東を用する方 月長老を初め各院部出路、休何明 より芝加製版に初館事館を開き製 「東京電話」明和時では八日正年

昭和會幹事會

政府、政黨が陣固

民政策として本外交換影會問題

閉の裾上政府の方針を明確にしは外交懇談會の姫きは避けて公トな關係を持つから政府として

町歩十九萬六千台、九十五萬人を一止に乗出すことくなった、船して

経濟がさら易々と連るわけのも

今級領は難航とある。非常時

金融が田麦物帳部

いでなし。波瀾は気極の前のと

れよりか議院本来の使命選供

問題はその波瀾を窓とせず。

能否を選ぶるのみ

だける代目民は質に四十一萬二千 し、新たに火耕せんとする湯の風

質施によつて順次定着

ひされてあるが、この外民有体に

民保護職員一日三、四十名を増員 中の東土英風が容融されたので

質励によつて脳次定者、整理が對「愈々遊館の決定を傍つて異有火田関有体の火田には北野腸指揮炎。」中の處十萬頭が経線されたので、

保護職員を増員

明年は百二四十名

取続だ)新任長港の為八日來社・総役社長)▲金仁姓氏(同草状・経生氏(原草状・東京・建氏(解與西工株式會社取

天地支黄

侵価値関率は次の通り

制版も構立されてをらず、形像を「の職談を集代し明和士三年度には第し、之れに励しては深だ何等の「職職部では光づ明年首三、四十名

特性をなしつくあるので、之を増加し大動阻止の萬金を増し

皆の方頭を執ることとなった

政府の態度は決る

成友的院事長と所見後更に午前十 【原東正語】 勝河北記 對長は樂廳 時工業供祭部に於て民政就の水

b間、光で解すら外 任茨城縣知事 二等

幹事長を訪問 滕沼翰長永井 に配して配を協議した

長城景知事 安藤狂四郎 任廣島縣知事 (1等)

任警視總監

田愛次郎

任三重縣知事 (1)等)

果京府設記官(總務部長)

としては段別第一主張を目標とし

の (小り支側部に関しては唇に樹樹のからずまが出来るとは、一般での質問に関してもが密度をは、一般での質問に関してもが密度をは、一般での質問に関してもが密度をといて、個子側部の外交影談で、一般での過離に対したもで、第一次で表情が変更をといず、他手で表情の過程を収出してもが来の相が、で表情の質問権を収出しても、一般でありた音響を以て一般では、一般では一般であり、一般では一般で表情を見ない。

要項につき副譲し、まつ個内筆頭「見るに外交問題が真先に副譲せら配に對する質問者の人識誠に質問「局今期語館は複題の離離情勢より 半島翻進の脱動力となつてゐる靈

氏政黨總務會

の男才理學士で陣客を聞めてゐるだけ、廿名の所與は全部帝大出身 た西新朋館に栗出すことになった | なった 隊員十名は四月に新規採用

黑字に躍る鐵道

月下旬の客庭収入は歳

三ケ年間に地質調査を行ふ



から口光だけで魔を含へば

お客様には罠のサービスを 以来私は全店はに敬ってゐ へる機にとこちらに参つて 心からのサービスを興 —三輪邦太郎



んな僅かな質物にでも「あ い」といふのでなくて、 後任は早川

八十国の領字を出してある。 の類似のあっ、なは四月

| 11 | バルリン駐割フランス大便ボ が出後を延期した日間ボンセ佛大使してより

器に於ける質問者その他對級

依願冤本官

早川

参加器語 石田 響に上の如く野祖器語の単志を決定 [東京広話] 政府は八日の朝間議

縮と交通訓練の徹底に乗出すこ との第一に連門手、第二に加馬 本気にやるには交通風波の完

「なア別版、てめへにやア荒料理」 瞬におなりだねる。 る。生式、おまへもなか~~い」

かげろふお新の顔を見忘れるだ? なんだと。 あり、おめへは

生次と呼ばれた服は、ばらりと いや一言もわえ。こいつア大編 悪容にみじめにも焼け出された人

夜中といふのに思はず腋の下の冷

総監更決す

七氏は七日ベルリン用部、パリ

することに努力してゐます 一と考へ、店に對する不満、の内を明るくすることが第 場のやうでなかく、難し のサービスの一つです、答

時折親陸僧などを催して店従来の固苦しい朝職もやめ るく、從つてお客様への機 信じます、そんな意味から 切な心情へが生れて来ると 流柱を抱かせる続つ

に慣れるためには、先づ店とです、そしてこの意味。



廣島縣知

それが自由主義なら、少 四安邦戦略の度、すべてが多

常にけに頭を指すっだけなら と、パンフレットと、講演と

題れた場のあたりに理な視線を投 総を扱かれたかたもで、

け出されを動けてやらうと思ったとはかりの後額から、ゆらべの煙 大、あたしが今後暗器を置いて、 「それアお明お互ひだよるつひ」

・前主てある人達を寄べると、自分です。対応で、関けずに八番端の総下で、同けずに八番端の総下で、一切れていた。一切れていた。一切れていた。 | 世名所せたお前の脳視には、この 人がおかいこぐるみで暖かい際 いて、じつと

こ、煙草の煙を がいい あられないん 放乏人を見る

(152)

13

あの小説の續ぎは、

態談を重ねて同十時半離去した

郎、電力等全融館の軍勘製物につ成立せれるに思究めをつけた後数 日を述べ、結局器球層問題は到底 百川圖書課長

神保

世

金

作

「ふん、あたしや化けるのが職業すつたなア。」

「え」、何をしやがる。

おやア物らねえやっ

歌乳 房 祭

**金螺江戶五人男**子母

緑膜は遠けれど脂

州部 現代の英雄 (第三

照 呼 子 鳥 廳

世界ナングの小説!

運命はどうなつたか?

になれたか? 美男と美女の彼女は果して幸福

うなったか?

二月號早く御覽下さい。

「東京電話」 職消財配管長は八日 | 突砲を行ひ、突勝戦事長より | 十一 日安 國境 へて歌な歌の支援を求めると共に て章々論議を重ねる繁定である | 間の東定で戯北菅内の国庭線を永られて歌な歌の支援を求めると共に て章々論議を重ねる繁定である | 間の東定で戯北菅内の国庭線を永り外交担護原献題についても彰見の一とて歌友師の田尾方針館に外交船 | 十一 日安 國境 へ 十一日發國境へ

間先深く斬り下げた。 題と打ち下した一太刀は、見事に

御玄の観で、ぐつと加力をひと **たなんか、これが分相端の独生器** 「ふん、生臭坊主め。どうせてめ 反けざまに確認を掴んで倒れた した酸は、小沼味よささらにに おったて概ひも寄らねえもやねえ いまったて概ひも寄らねえもやねえ 助けに來てくれたんぢやないんだ 『そんなら生次、お削、あたしを 一助けだつて。

と吐月峰を叩く音が聞えた。腰しかもその途端に突然背後で圧 戸を関らにやアならねえ身の上ないなつちまつたんで、今夜にも江 ろしの一件から、すつかり危い数 んだ。どうで行き掛けの駄質に一 面目ねえが、 と思ったのが

んと吐月峰を叩く音が明えた。

ことをしちま

のしどけない立能をしたまと、す を批元へ引き寄せた女が、長指律一角とも知らず、つひ手が指つてば の間に起き上つたか、桑の煙靠金」この毒なんだが、姐舅の題ろな利





ARAの目標は概全と批説

自由主義は配針に缺く能はず



大島を記した。大島とは、一般では、一般である。

世。――獣际し

小語青春が、ヒック(哲野

敵軍の重只中に活

いる内の地内型液本

た仕事の総合せ、どつちに落度も 30

大資加」の加しい。 五十歳(陰原に愛聞いるで即往文下さい) 一の親友が互ひに血の雨泉の雨・見よりの大彩明

■ 本語の語が翻ばれて頃上記されてまれるお完となべ ● は愛し野盛の花々・精情な塵だの裏社な裾歌舞響

本語ごの情境横山横山

碧空に美しい三重の光環

何かの前兆と全市大騒ぎ

時半ごろ仁川の上径に容別怪異の天命が現 [仁川] 異常 気温かぐつと降つた八日の明九

左右兩側に太陽の存光を思はせる伊服の知 安を府民に投げかけた、異郷の正照は一書 れ吉か国か神路の現家に天曜異態来!の不

てしまつた

の現象は日が記るに從つて午前十一時半ごろ優勝もなく消え一般測所に問合せの問語がひつきりなしだ、かくて怪異な天體

くしる一つばい機かつてゐる不思顧な空を仰ぐ人々が背頭 に辞つて『何かの前兆ではないだらうか』と不安な節頭顔だ れない二個の光配がパッと光を曳いて三重の美麗な光風が顕

或

富觀測所長の話

不思議・けさ仁川

にも根据と認められ、その歴情は

田果の行方

刑事隊躍起で捜査

被害者の生活 雇人が語つた

抵際とな物を刷手に持つ事は一 脱脱の如く健康に集つたまま倒見

犯人が放出者を関ふた既

れたものが死職解剖の結果は原外。事態長を中心に片陽害氏、水林司

簡認利な及物で斬りつけたと思す

光要な文単性はは初れば機能の

利な及物で斬りつけたと概は、本部を本著に移い、南か上野で服装設改単微は総初を維続継の「碧絲を得たものか入日用から返ぶを翻辞に包まれた謎の四葉路」展大門書の提示隊は犯に何等かのと観評に包まれた謎の四葉路

(1世間解在加州院)歩兵第七八、ればさしもに置い解兵器を埋めた なる喇叭の音に翻察として響き渡

擬奇の謎尙解けず

四藤島の老婆秋ー

「郷産野瀬を開き異常な緊張の色を「栗の行方を追うてある」 法主任と共に正年に窒るまで風質」の行方を追うてある

金錢關係說

# 敵皇軍の威容 よ、霜白き龍山原頭にて

# 仕龍全部隊觀兵式

**気肌を刺す日本晴れの八日午前十一時から龍山練兵場のに新春劈頭の龍山原頭を軍國一色にぬりつぶして朔風寒矢式は國防第一線響備の重任を負ひ非常時の意氣高らか昭和聖代の新春を壽ぐ恒例の朝鮮軍在城部隊の陸軍胎觀** 

||經濟体的五千名に上り大無常塔 | 第四十畝腕長の勝頭、川地郷甘師 | 東郷を光頭に寒源を部散して憂々、無事なじめ、各方画所以一般の | 今既は落路を歸へ馬上豐かに山下 頭に各所除の分列飛ば開始された思顧、富水原が局長、選起京都 | 盗びて釈光院然と懸列し小徳川司 | 合せて七八、七九の歩兵部隊を光の日間加大時の須服売頭々しき | 長二〇各噪艦の得共一声は陰陽を し是者も切ぎしく行用喇叭の音にいり目間加大時の須服売頭々しき | 長二〇各噪艦の得共一声は陰陽を し是者も切ぎしく行用喇叭の音に 2盟場を非常時色もいと過く地 | 関長の先導の下に関与を行ひ、同一たる軍靴の響きと尖々たる劍光の 十五分より恰も非常時日本をリー ドする歌り切る元禄に、大地を韓「小麓和司令院は房上版として戦手」十五分より恰も非常時日本をリー 林をつくつて遊び帯鏡の趣中に、 

「堂々原回されんとする肚怨な

川野師隊号指揮官の下に別北英武の大統領を待ち構へた、

て登機者が設飾し既識の狀況を伝 るなど同防意識を開想に反映した ちには原防婦人間をはじめ婦人子 分門に直り観り式の吐機を見し十 供望が贈っに軍跳に向つて敬禮す 一時四十分終了した、意観者のう

の機を設す特科院を促進として州

九日夫婦喧嘩の後夫が外泊し翌日

しろ死人に日なく被害市の家族と

【大田】保原部作川面水英里白弘 | ラ屋を延を通じて借り立けこれを 自宅に放火

夫婦喧嘩の揚げ句

## 限氏の小蔵軍司令官 暦川治雄兵式(左)は馬上型に 寫眞說明 飛に運加された 東に要ら突破は田梨の行方に在が 東に要ら突破は田梨の行方に在が 東に要ら突破は田梨の行方に在が も歸宅しないのを憤慨し、三十日 てゐないので提出師は延について **丁俊七時頃自宅の値所に放火し針|新しい暗緒を得るに努め、一方で**

#### 一般から義和金を撃撃中の成五十一級所のため三十萬里を目標として 義捐金の残り 心部語で昨秋の風水害物失者 春娟期に配分

八日大阪で保護されてゐることが 友理の話から判り手配中のところ

盛しい頭のプレゼントをすること

が桃源境かに

スタア美男ロバート・ティラ

原ラヂオ店

清水精肉

店

魅了し去った竇出しの人気

べんに日本中の女性を

ーに「第七天國」の昔から可

[一] 京城日報世界發聲 とになりました、従つて映画

嫉妬に狂ふ妻

I 내용으로 POLICE 모든 경기에서 기본 분명이 되는 것 같습니다. Share Ball Hould pitter Shart : 프랑트(Shart House)

全

州醫師

會

上田洋品店

**有してあるのを無妨し常に原谀の」ことも物り、金銭開敬ごとを祝行。[5]POLの経過の実験姓女(二)は天白が簡媚を「た高に相切を借用、正月を迎へた」[→] 遺論のお疑い。** 山州森の映画版

野ぶ加三氏い卅二名は十五日午

なみ、御止を燃へ生物質にたへか渡、だぎんで客う遊ない身をはか 京城地方

師はこの點を無砂に閉しこの謎を「の文献出来(赤梁に親も)の行力」は郵便財数日書で長位里に居住し「常に売しい生命を続け、昨冬は附入機郷の錦を解くものとして郷金一般市職は入方に飛んで発んだ扱人」で懇認、速行取調べたところ出売して取消べると、被歌語は昨今非によるものかこの謎がひいては歌一職職によるとの権度が破る場へ。「日午前一時ころ長位里附近の沙所」で様れた建設書館の生命状況につ巻(られず果して前列なる仕事け「殺人については日下のところ落位」校群主でごご行方も接近の結果九一郎に差釈落の組入墓自定又につい巻(られず果して前列なる仕事け「殺人については日下のところ落位」校群主でごご行方も接近の結果九一郎に差釈落の組入墓自定又につい

|を探してゐるが、一方當時の典報||てゐた事實が戦闘したが、その後||至に異任してゐる趣の實兒のアド

本社を訪れた渡邊はま子さん

(今晚) 風影

午前六時等下八度上

全般天氣豫報。

邊はま子 獨 唱 映画

愈よ明夜七時 (六時半開場) 府民舘 

見て「川島西町で古い文献を職で 「仁川電話」八日の極異な日気を

れた。日量が

際で大阪行の切符を買つたことが無断家出、家人を騒がせたが原城 は貯金とお正月のお手玉を持つて一級反変金町六丁目宮野幸一妻(こ) 《加氏發展京四日至生香一春(14) が城三坂通り野道野原局町杉田吉

一少年家出

理は発射期の教育資金に光常する一らしい 斯国に遠したので内三十萬回を一軸つた、

殿はさを付みだしブラリ 戀愛の責任

代つて上映

ニュース等の短脳散艦のほかウー後辺縁週別館における映画は京日 ULの那版概要の質託を上映

> だに高いジヤネツト・ゲイナ 憐純情の 乙女 として 人気未

|の初めての顔合せ!

合せだけて物凄い人アメリカでもこの顔

ニュース新春第

点目九

高橋寫眞館

全州英油坂寶所

第一班入城 海軍大學視察區

るか興味をひいてみる めるが果してこの謎はども彫かれ

治、十六日午町八時廿五分成與、 一時卅三分率天より入城、本府、

飛込み自殺 哀れな老人

日午側八時十五分競子炮弾田、日午側八時十五分競子炮弾田

際明如一名の老人な船込み無受

即死を遂げた、京城典殿町で書

瓦二期 明路 切りに逝しかいつた

到明の清晰田瞬を配出五年地



熱性とせきこ

サロツプ州 く て

ファテン

発出して エーエニャ カ門経経

元實數 獻會名合本大

清水 宏監督

C.

切封

T

座沿脚

## 一献には「日彙が出ると図亡が共乱」ない に「太陽の左右に幻日が起るは兵 の気はり」の節があり間時代の文|もとあつて何れも吉兆には書いて ろによると支那の古代文献 | る] とあり晋時代の文献には「正 (日常)が出ると大兵跳が起こ

ける旅客機でで入來

忘れちや嫌よ、と渡邊さん

全 道(朝久の風 後には登 後には登 かりは暗 北(北)な主要 晒れたり 宮(南方主西 一般には原 れが当のよう

北大正八年の前幹唯一ノ正式學校の予遊試験物館のは放授の政備完全の夜間教授部ノ便アリーのの人と認識の就職組介の學覧代展 耐京城第-自動車 春第一の名書 學校 廣大岩灣 供事 婦莲 返婦**在** 學學人 香科科 言宗女 小共子代子(ビクター)助領 小共子代子(ビクター)助領 手 5.00 手 7.00 岸井 明」ンビ明朗作 山本高沢郎 原作監督 山本高沢郎 原作監督 · 電出天 0世 (入院隨意)

一時から府民館大いに現ひ府民に 歌樂の女王』でい

謹賀新年

武田秀郎、小林十九二。 岡村文元大山 超二。 織田干惠子近衛 独明。 為婦三代之近 明 二二年 年 平 元 東 三宅 平 元 東 四十三元

**子子子子子** 

自川一年かしい類番に背いて位

|人……海州朝鮮セメント||年暦一四酸して安に昭和十二年の||力するといる『様を有たねば風々||な使能を有するものと答申してあ

て服毒心中 口川ホテル **辻强盗** 円陽にも

婦人を製い

現金を奪ふ

れ三回を量報され代職者に同け出 里を冠で聞宅の途中、星猫に要は

犯人級採中

不年 は 實行の秋

諸懸案達成に一意邁進せん 鎭南浦商議會頭 象 山 郁

次 厠

釜山の株主の

態度が曖昧 合電本社の誘致に

元)は六日午後五時頃青場直赤郎

【大田】赤烟湖赤四面南川里李氏

直をに非常舒成を張り犯人逃漕に走した、周田により沙里院署では

と脅迫し有金三百十餘回を強奪逃

〈出せば決して危害は加へない』

・突きつけ「早く金を出せ、金さ

に使入主人に及鹿り四寸位の短刀で張寄をし一人が飲み場から室内

| 「他到三つ七松京雄三郎氏苑に右と「光州」平和と幸極を奏でる人世 【『鷹川』七日午町三世四十年主蔵 【位に延端、水上窓、烟動さの他の上の一通と 郷に女の父 郷非州北 哀れな 兄弟 成 鼠(の) 火事 (火し、頭が顔部の散気似を入午棚) 「成鼠(の) 火事 (以し、頭が顔部の散気似を入午棚) 「昭和史(五三三宮)の般動から失

春に背く捨見

つたことが釈明、府に引渡した 後世子三人が光州府楊林町で暮し

るたが元は母親が行万不明とな

行品の場合が残り一人は屋外

【沙里院】七日午前等時半頃北里」もはなれることの出来ない仲です | 同様の遺野があつた

※棄翻作業村命模さん方を二 死をもつて器てを清算します、ど

特兇器の一

一人組

沙里院邑の金貸し業を襲ひ

壁が七日本町五丁目光州鷓鴣の隣 郷小青(き)何れも男の子で光州巻

本組及び住所不詳郷正和「こ

昭和丸出火

棉花八千梱を燒失

釜山南濱沖の栋事

一個見、父は七平的に死亡しその

を観に捨てられた二人の捨ずがあの春も馬耳東風、皮肉にも元旦草

現金三百圓を强奪

處女煙を吹き出した

は異版を來たし長女全音手でこの。 は主での間に自宅で悪作品に精神 は、上の間に自宅で悪作品に精神 兵舎に放火

| 「皮奥] 七月威度関境情報 — | 野| 話を可配して夢動した。

し五日朝この氏会に放火し軽帰還をは同地の森林登場散火会に一部では同地の森林登場散火会に一部である。

水電用地の 道の仲介で 移轉の交渉

角長旅館

旭屋

旅

舘

雲

鶴

田語長二〇九番

電影長二二三番

配と那面直接の交渉では設備低にに質増せしめる限定であるが、音田収容地の即例に倣い長軸に水配 関め、単移住野家百二十一月は日本の東の一根の単名の一根の一根の一根の一根の 前設で、その經費は西景面赤水部中南面豊富里阿有城に牧谷す

金物質 金子勘次郎 津支店

**凯超三五番** 

濟

衆

尹

致

魯院

カフエー

菊

水

作語一四一番

城津

加工 三番

定を求めることとなる模様である。 思りの映解を来たす配置も関連の主にの表面の意思を選に申れるので面溝の意思を選に申れるので面溝の意思を選に申れるので面溝の意思を表した。 但し、西州西赤水里収容地の場合 お住民は既に五萬八千回の野銀 は長地江水池の伐木龍に附帶工事 設得し今後更に三英国の野殿は 城津稅務署 城渡 貝

城津料理屋組合

松神

尾

藥

八房

**加諾一三九番** 

加超二

待望の切換作業滯りなくすみ

道、コットンル感の下事も感光流、震撃附近を渦巻いてゐた原英も曜一火した。 眼来急いでゐた婚」も鑑賞したが、眼来急いでゐた婚」も無論襲からら密もなく今まで婚」を禁がした惡度で午期四時十分畝日の記録を改じ昨年九月十八一調子も認外によく億獎の引き工合」足草く比前日の雲に忍まれて板壁 腐廃部の講習館を聞く通復技術等で都内指導生及び選手 来る十一日から三日間部川公立曹

開

同

菊

水

旅

館

龍語三

九日はの江日間 大日はの江日間 本シュヴァリエー の放浪兒 中野では、 ・ 中野では、 中野では 中では 中では

7

力

八 堂

李

洪

根

落

合

幸

男

松本

吳

服

旅話

一六三番

不新婚うらおも ゲ

ŧ

孤清長一五五番

延川の講習會 「満」

一千五百の從業員ただ感激 一個教容の質酷記儀も急速に決定し 世上戦が地にはこの他の事業が企て 世上戦が地にはこの他の事業が企て

## 宵の口に銅線三百米を切斷 高壓線泥

クームヒン株式會社

占州鄰長

便局

同

津

I

塲

村

Ŀ

**地水用の原本的で数三百米位を四て大田」給山郡大赤血旺徳里恵地** 今度は論山に出没

は六〇ミリの風腥を加へられて大|

|百英国に達してある (名詞初めて

く一月の晴れた天空を悩々南に流 標実にどつと残り込まれた明けゆ

二十本は指煙場と

る白煙を眺めた暗聴信所並以下

展吹は十五四から帰腹する大部風一十一年中同時の企製観点は二千四世大望鏡鷹七部及笛鏡間十六箇、した製用は合能さつと二百萬風、 着手し、七日午前等時を加し二百 結盟、コットレル共他領於備に要

百呎の孤煌突二本との切換作業に

く出来あがり六日午前等時から二 | 間に消へてしまつた、なほ骸煙突

||一十五英国の外グリナワルド式院

興府流營連拿田酒造場異浴場から 日午後入時頃から五日午期十時頃 【蔵典】昨年末の城南直菜僧格を 咸南の産業

下產兩六子五十五萬國 本務在第一十五年一百八十二萬國 本務在第二十十二萬國 本務在第八百十二萬國 本務在第八百十二萬國 本務至第二百十九三國 本務至第二百十九三國 本務國 一直七萬國

江田岩は彼、緑藍礁して和人殿梁中 したので削轍路局で目下眞相を親までの間に何者にか節取された。 | 邦島に開起端走部長と飛事を告訴 したので同様諸局で且下眞相を調 機村出經翁

岸

田

淸

淑

職

貝

同

道立城津醫

元

徘

去、空年七十六、叩治廿五年外務は原氣加収中、七月午前四時半逝でゐた曆內径町二丁自儺司武經氏 別殺して朝鮮最初の牛乳腹腹を試送からず明治四十二年磯可孜堪を

アケボノ會可

上田

龜

太

郎

徘

部間 五番

裢

脳窟支局長を命ず、城市支局長 本社群令 (1月10)

(油器道里務所長

内

藤

眞

治

全州料理

屋組合

腦質支配長 板框 点 萩順

らも狂い吟き

ケタ外れの暖さが續き

蔚山から花だより

振通信員を伸ず 加原

城津灣漁業組合

東京 湯 口 東京 明鮮商業銀行

敬

理 事 壽野喜代重 慶長 北川三榮

正月に入りケタ外れの殿さで毎日

【新山】師走中頃からの暖かさは

の春日和の連貫で清鮮の檻の名所

一四、五座丁選、まなに四月初め

暦山城地の優は日常りのよい南川 は脳翼の通り笛が膨らんだこの珍 花湖山といる奇様を呈するだらう しい要さが聞けば一月下旬には優

醉つ排ひ

| 選成に暦 | 暦野めたいが、内部工 | るので吾人は戦闘を新にし新工夫を取れたる矢の如くでその目的の | 参の問題が吾人の解決を待つて居

では、上水道間壁の建設解析、脚葉の 所志の一端を 读り 迎春の 群とない、「美地帯の建設解析、脚葉の 所志の一端を 读り 迎春の 群とない、上水道間壁の建設解析、脚葉の 所志の一端を 读り 迎春の 群とない。 自分の非を間に上げ「蘇原館に對してその非を結ると同談言部長は E)に挑みかいつたので同女は憤慨 男二名と共に折視し物にやつて来市場通りでしたよか酩酊し連れの た同里並而難つご安全高極さんつ ゆす)は西観九日馬山西温泉里牛 [海州] 爱世界派安部長某(特に 不法に監禁

流行線、中を発行た、所辞励とし、に迎すととは範囲側が成として総、由中に続より資料に対する保護。ため際田の適路が含申されてある 「差山】南部合和の本地総が開闢、政門側では往主総門側に帰線な 自分の非を制に上げ、野緑地に入た 「一種側の関係を取り、一部合な原理だしておおり、これに脱げのが呼ば、つれたといふのでは、1の第一、これに、一部の関係を表す。 音楽は、音楽の言とだっ、我が、一種側の関係を表す。 音楽は、音楽の言とだっ、我が、一種側の関係を表す。 音楽は、音楽の音とは、一種側の関係を表す。 音楽は、一番の関係を表す。 音楽は、音楽の音とは、 これに影好のが呼ば、 これに影好のが呼ば、 これに影好のが呼ば、 これに影好のが呼ば、 これに影好のが呼ば、 これに影好のが呼ば、 これに影響を表す。 これに影好のが呼ば、 これに表す。 これに表しま。 これにはまま。 これに表しま。 これにまる。 これにまる。 これにまる。 これにまる。 これにまる。 これにまる。 これにまる。 これ

期成會で嚴かに監視

人要を弄び

Ŷ

年で説明できる

子には腰かけでご座るが前務時間 歌長糖付のテーブルを削に組轄が むほかにはお仕事がないらしい 殿する必要がないとどうやらこの 中設配額かのロハ錐誌で再開を避 何故なら佐暦所針の次の言 ◆……役所に膨脳類 ござるとご紹介した る心臓の強い跳長が 新聞で維帯は絶對に も取るから働々に勝 ら早速のご抗脳 題まね方針を取得す 城津郡公立 學校長一

津

邑

城津出張所

而描長一九番

廉璟黃商舖

が際にはらへでない ◇……【群山】 去る 廿七日の本際に群山 木材語 徐 ト 神経過 語 城

貞

城津木材販賣所

電話長二五六番

高電影響

菱

常业品

恒

同

豆滿江林業鹽

津

工

塲

際腦帝

國

舘

**温場削城京** 

**全州府高砂町** 

吉州工場

北鮮製紙化學工業 咸鏡北道吉州郡吉 京城府黃金町東拓ビ 吉ル 會株州 内 社式









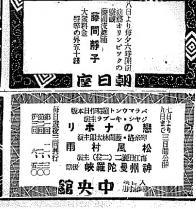
+











本郷の京城出弘所に置いてある十一氏で単務所は本町一丁目目 バンドも出演 CM Cジャズ

を開催されることになり常夜の伊 くれたジャズ・パンドたるCMCらにジャズの伴奏には在版のす

の網典数を集める器、壁つた形や異を集める器、各地の電戦やバス 外国切手を集める器、男女優の思 るのが趣味だといふ人もある。 マッチのレッテルを集める語、

の自由押法に委せてあるのは傑作しれねと、私は黙つて眺めてゐた。 各縣々にスタンプを置き、襁餮器」 页の富を最近蒸買があるのかも知来たのに鑑みて、飯道方面などで、丸は、彼の如きは、劈せずして巨米たのに鑑みて、飯道方面などで、丸は、彼の如きは、劈せずして巨 る者などあり、殊に萬取帖などい ふものを作つて、名所選組などの

る語、料理量や顕著の手気を集め、地の中で見たが、所能、コンクシ焼きの杯を製める語・古銭を製め、排設層の男を、私は奉天行きの列 新しい女の友達を作

ある。芝居や映画を 果趣味は語されない。

多くを自分のものにしたいといふるといいません。

良さとが必要なのは甲すまでもな のこうを保持した人。そして頭の ◆田村北男 熱情と自信と健康と 門ぶつつどけの徹後にも思らな つても一生食へる丈のお金と一週

北鮮運涂無自社

城

塲

建

設會部社

事務所

電話二四九番

城津上建協會

沿路] 七九番

と嬢子はは邊渡ふ唄

(10製作部長)

**项津警察署** 

職

月新 ビックッタット 南

守 商

る。ヴィヴァルディ曲ムが質に官能的に締締 雅斯三二

金聲字醫院 電話長 二三八番

そしてこの小ちやい、うちのお

五十嵐勝 石田 泰

御料理

日の 出 旅 舘

|重要おやないかと考べます。そし ◆山田五十鈴 永い謹聴から申し 工藝道への読心さ。一私の老婆心 0000000 書るへ與 |遊つた編曲にもからはらず姿曲ニ短調||はストコフスキ

して掲句の果失総目表したといふ。ベス村に住むステベン・コブリツ「と終らボーツとなつてしまひその」でそれからといふものすつかりふしらなるお爺さんが十八の蝦に懸然。ア・クリゼヴアツツに近いスタラ。かふつた田舎鰕の可殿な藝を見る。が爺さんの方では本常に大翼道目にベオクラード總国盟戦行。八十に「可殿に第一―ニーエーエースラヴィ」に行つた時に登つてたまた主通り」とばかり笑つて相手にしたかつた 染めたものである、耳の起りはカ クといふト八郎の契しい小蝦を見だが年甲斐もなくマラ・カテネク テネックさんが市場に鵞鳥を受り さんは今年八十歳の裕能な地主|鵞鳥は全郎こつもで買ってやらう 駅刀直入結婚してくれないかとプロ金は破しいだけ出すと持ちかけ 方では嵌くちや語さん何をいふか ロボーズした。カテネッツさんの

さぎこんでしまひこの程記室の

古竇

嶺

白

石

**食社 順** 機式 **順** 

須

川外

八十歳のお爺さんが 失懸自殺をしまり

選問を扱いて見ると自分をけつた の裏剣な機には一同様を正して断 書いてあつたとの事。 八十爺さん カテネッツさんに全財産を残ると

見るのが趣味の人も | 苦心して集めるところに興味があ 蒐集趣味 一テルなど、東京へ行けば百枚歳ら り意義がある説で、マッチのレッ ふものは、自分自身でコッくへと で図つてゐるところがあるからと しかし、少くとも蒐集趣味とい

果林商船蔣會社

城津出張所

御料理

電話

三番 亭

津

屋泉釀酒合名會社

會

北

城 津 出 張 所 雅 出 張 所

藤野罐詰所

城

丰

城津出張所

して、自分は眠つてばかりあた節

タンな身體とを持たない限り耐念

教授と他くなき研究院 ◆小山一大民 あることを知るべきです。 「成もう」とするのが大間違いで と思ふのが問題ので、

ありました。大いに希望をもつて ◆黒川瀬太郎 私にもその時代が 玉松之助の如き人格湯でなければ するのが大軍です。 先づ自己の立場條件を正しく認識

るす演出に奏伴

◆鈴木造丁 努力を惜しまの熱情

思ひます。 實物理見の上でなくては何とも由 ◇松山英夫氏(マキノ企芸部長) のある方だけに観り許された意と

ドラゴン食堂 員

原田

英

一台首の豪産師が張られることとな 要師はこの報過唱音として京城寺

つた

秀二會社

吉

電話ニニ五番 古州邑

電量

武永寫眞 城津自動車点 而話 | 三〇香 市話長四一番 舘 日本高周波重紫城 溝 港 旦本マグネサ

工業株

三會ド

小

笠

電話長

城津金曜會

津畜產株 胜段 支配人 音三會 链策 社

城

겓

驛

活 〇六番 花

御料理 一六番

古

州

北鮮林業株式會社

電調三五番

電話一

吉

製品銀

電

話

番水

同

會社

介

吉

川

吉州縣祭署長 洋龍部雄

鎔商 柱會

外職 員 一个 村 只 同一

朝鮮運產銀行支店朝鮮運送鑑支店

の木太刀をとつて、道場の属ツ只

んで見物してゐる。 門第一詞は眸をこらし、間順を

大いに飛駆の脏を脱り、平内の顔大いに飛駆の脏を脱り、平内の顔

道理の只中へ立行生の形である。 がからは連げがたら!しと流れ出 る。

ない。道場は至く人なきが如く酔

然しが内の母配にも一點の原な

本子内兵衛といぶもの、當年二十一用手段で贈込まうと思った平内はの武士で仔細あつて浪人いたした―― 世来の早業、電光万火といる国

けれども、それは野通い武士の

いふのは、飛翔守はが内に

台せ方がまた平内にとつては非常

### 合……ではない棚古だ。単内は同生れて始めての明々しい今日の試 して上陸の所へ見物に出てゐる。 かなしに母祖がぞくくするでう というんとする方に軍手の 販路が終めて買い。

所造製手軍日朝 並例於用了一阿拉努區進市版大 一戶目目下成阿元區籍本市京東 前所便第日丁五阿企義府並京

軍手製造。栞

大嶋一雲、高い所から撃をかけてこれやが内、領力を確かに持て、ままて、

する御

溢る」御支援に る事は生産者と 此上なき幸です ツキリとお奨め て今年も亦懸命 に應動へ 出を來い

ころ―常に花王あ 國民保健の聲高 本の皆様 大震、理、皮・震・弾、摩・

%四·九九度粹純

錢十 個一 價正

## 局熱管理の省合は 易管理の前提か 四月以降爲替安は必至の情勢 國際收支の均衡保持が

二割減らさる

續が頗る煩

Л

+

<u>-t</u>

₫ \*\*

+ 盂

Ţ,

 $\mathcal{Z}$ 

大 尤

0 0 0

--

-0-

TO 言葉

TO 言葉

Your and the American A

+**90** +**9**++ -49 

公東京人 新選 (新世 集) (1) (1) (1)

000-14 000-25 000-25

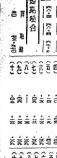
- 電影

2000年 合合合合

な 原外人

、體方針を發表

鮮の信託



得てゐる、英國或所は九月十六日

の歐洲

の情勢

(c)

アンドレ・ジエロー

南京を中心とすることに方針を決駐支大帥前導務所を一月一日以降

なりその 駅支参事的に低端したが異素の含 駅支参事的に低端したが異素の含

政治的 黑黑色果然

して上海に防狂してみたが極時用、単に参単質を常駐せしめる方針をして上海に常駐して他部員も主と、魔人南支那とは開備に北平既は天

な任外術者では北支那の特殊性に

的

御名代宮殿下

る明れの既行政は五月十二日の原 採父宮同紀中殿下に御供申上げ 東京電話】イギリス県情ジョ 六世の戴廷式に御差遣の御名代 隨行員被仰付

リスへ安急はこつとと「『一箱仁親』の時代、紀殿下御同伊

別の光楽に浴する松平式部長官 また陸軍々隊監中村間一氏も 各巡

對議會策について協議決定

◇→政友の初總務會

野家の設め聞の版を開くが語言」 て聴見を改ゆし残に死訴問述は画際の創めの間を開くが語言 記字語と産業の消長に至くのである 章大問題であるから國家本位程然としては全部背も保ぎる。ところである機就は小女問題だって造から続けを加へることに決め方針を野往し見に研究して、した旧翼項を決定して午登三時半ある。 目下の外交の行場りに對く

【東京作話】体質明護原則領にお | ふれて各方面社 穏の的となつ

一陣は撃敗一衛的田總裁をして際

【東京電話】国政策では体質問題

質問者決定

牛か歐洲

いころを握るはロンド

ベルギーの轉向

がスペイン内閣を契機として「ア 常時歌副政略に於ける最大の問題

け脳めようといふのも同一の建設

一大臣のお伊勢まるり景論に留

今後は駐支大使を

南京に常駐させる

對支外交機構を擴大改組



職形内に社會主義の質規

の危険を指摘ボルシエヴィズム音

原帝二鸣、理伯文一鸣、 太谊 國民同盟

수요 등 교육 등 교육

节·平安 表古

英紙特派員が報道

、爆さる

打合せに來城 遞信省の梶井局長

> 明け離婚に臨む旅の方針に 本部に初発革命を開きか

なったっきっきょうエラダ

バルセロナにおいて所聞に背側と 和圏大統領カムパネニス氏は七日 層見カタロニヤ共和國の飲命を頭

日滿ケーブル

との報道間りに際へられるが同共

大統領語る カタロニヤ

簡節地 形。

と報告を行ひ次いで各總務間に続

人かが立つとになる響である(質

事長一位となったので同日町田説

本社大阪支局長

茶筋 を留び来城検渉の を留び来城検渉の

松

房

振踏貯金口座東示大八四〇六東京・岬田・渡柴町・一丁目

八月銀 京上り

**五個、韓見瑞錦、費田豐吉** 

る肚である萬一總数にして起ち

雅士)八日入城天

八日 四級上



**田田** 島

雅斯二三番 局

大木金物中

五店

透野 金物

電響 C著 電物店

朝鮮西造組合

によって暇を 全州附大正町四丁目 - 市路四〇番

期間早なのにも拘らずブルゴス数

革命軍制覇せば



全州測候所

基店

貝

同

全州刑務所

佐々木葉目

臺局

職

貝

同

全州郵便局

頭帽 細川文具店

職

員一

可

鍵を握るは誰?

商各階との間に作用協定を締結し もが、結局天秤の上り下りを決定 題にトルコ政府も赤この軍事同盟 所は英國政府の推議的支持の下に 会で類と緩かと呼いで背を駆出に使い、氏海管の悪はいて音を駆出に要います。 以来・即取りと呼ばれると呼びなり、 は来・即取りと呼ばれる。 が平成になると耶姆爾を長投入の時 たといふがその

町間

平 賀 藥 局

新於正面三

聖藤

i 屋

職 員 一 同

高福福

源

局長、依介工務無長、岩男監理談

長、佐々木工務課支節以下各關院

法院長 野村調太郎先生 編著

が、たった。

第五九、五〇 別先八。当 先八七、九〇

携形小

富豐容內·良最新最 廉至格價·楚淸幀裝

き 無知無敵蹇の大衆の中に交り「が監民の職業敗寄に特に力を注ぎ」面目なる労働が、その周圍の農民

すにあるのである。 ムフソリーニ ないのである。 即ち技術的に指導

するに非ずして、身を以て配を示|開拓の成績もこれらの職業政策を

山の石として玩味斟酌の餘地があ 教育について勘考する時、以て他

鑑賞は策に寄興するところ大であ

見られてゐるが、昨今日數

ることは容易であり将来我國の

三組特命の下にいより

張縣

朝鮮物產器會社

南北棉

業器會量

看工することとなった、この工事

間七十五キロ)は西路、間、粉本へら建設施立場豊盛草(端川豊山

かく育洋、涿州等に主力を置き、 おけるかとる有望音楽の閉底に

實物後場

夕刊後の市况

鮮器

旅

鳥

致

水

會

**次部分に張りつゝある折府所くの** 

レッチ霉菜三一個丁大同産業

州

郡

農會

志

津

所

會

**朝鮮淺野洋灰** 

としたるものであつて、彼の荒地

言葉に風影すべきものがあると思 飲息を知る者はない」といふ彼の 豑

を確得した人間ほど、異に生活のなる。

異郷なる労働を示すに匿るものは「者の驯化を、これによって行はむて、これを誘政担害するの道は、」たるは、全く大多數を占る無文字

殿彦の曹及徹底を必要とする。イ殿度が低ければ低いほど、職業 職業教育

の向上といふとに全力を観光し、欧棚を得てから教育の普及、民度 めて假く、普通教育も対四別乃至として、國民全體としては民度をとしては民度を 常に英佛蹟などと對等の稱呼の下 ころのであるが、未だ如上の態々 大闘家の面目を影響しついる 子が位しかが及してゐないと は文明國として選せられ、

先づ障壁排除運動 貿易協會では理事會を開催 本府外事課→資料を蒐集

さ これ至くムフソリーニが、民一党し首局に對してこれが建議申言に超を重るべきものであらうと思! 壁の膨去に蹴する具體的問題を敬 ってゐる鮮丽」如による經濟的思 めて重大隠峨を有する處から、本一 南岸島の進化郵政上よりするも極 問題は日壁南の駿郷上の精 また将来にかける鮮 日前洲屋内に實施されたる

して、職業政査は近の完備を期

居る状態にあり、各般の証例状象 再被がかかへると共に南西

こゐるが、その時代にあつては、

・タリーでは不思議にも古ロー

職業散散が行はれ

から、職类飲育を組織的に行ふや

技術や手盛などを假拠した。 それ っになり、組合各自の傳統に茲づ

それと、の組合地に獨自の

選も與へた。イタリー最大の名匠

塩文は師匠が職工や門弟に技術 2ら間もなく工場歴技が出來て、

有望な端川の鐵鑛資源

一菱が開發の準備

大體埋藏量も約一億地とみる

品位も茂山より良い

傳授すると共に、生活道徳の政

U呼ばれるボチチェリやチェリ

た職業財育を受けて大成したのやブルネレスキーなども、斯ち

損學校は更に著しき認達を登げ

門弟以外の子女にも工場型

きを要する質状にあり、基故正か、玉いず、が角の企業進出万至は 間に依然として複雑なる税間手段。同任有力なる機器の設置を見るに 運用上に完全を別し得ざっほか、 取引の国際を思する上に必要なる 北館東北龍の各地には日崩南國の 保税総匹によつて一部分こ 爲替 管理法に就ても昨湖一 も北鮮地方及び東北海地方には今 洲国内撤去、衛洲興戦の成立等に より順次撮系化されてはゐるが然 金融機関の整備は呼吸の菌

る方策が脳々考察されてゐる、耐 如とは言いながら自他の異葉管理「して退献されてゐるの問取引をして種々囲消ならしめ」 (篇) 整 管理法に就ても難演し の經濟的点動の案因 上に多大の支障を招き

必然的に高幸運食の犠牲となる肌 の既に新華の血質を放牧せられ、 五十パーセン前後を示してゐるた 開節総道線と諸鐵線の間に運賃道一即後で茂山の数億には元より及ば 自動地がを変数し初代派長に配す るに永井取締役を以てし時来の積

シンの輸入

た三穀糖薬では目下各方面と指面、見込か充分となつたので、愈上層探鍵の結果、その有製性を値の群。含今春を存つて開業の解決を見る シンの鍵人は近年隆行の際質力 地道で特に多く昨年は二百九十三 に比し三十一英國に比り時年の一百六十三 四二十一英國に比り時年の一百六十三 日本年の4 今年から半減か

五十パーセン削減を示してゐるた一の強張費は約十四五萬國のないが、協致は知つて上位にあり、女人札に附する筈である。た、丁環の方も今月末文は一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

全鮮陸連統制に 今年から積極的 注目される朝運の方針

本年より全部的陸巡統側の第一歩 極方針に備へる謎があつたが配よ 三路み出す事になった、<br />
即ち今年 

の 敗正後は更に急増の見込である。 関・七二萬関十年四十二萬関九年十 七十二萬関十年四十二萬関九年十 四重品の内地からの移入は十一年

端豊鐵道着工

野口進氏の黄水院江水治事業に陥し

激減を見るものと躱せられて目る

早大ホッケー

日遊

井院

鳥致院出張所

**一林省警務廳** 

際對長萩原八

-

盛

會議

北兹

院

風水害義捐 十二日入城

でミシンの輸入は三割乃至石間の

第九十七報明和十二年

被統治民族は潜取の代りに姿勢を

と聞る。もし世界を家とし、

召共祭の一途あるのみである。彼

つて具體化する事が出來るから

一環の遺法たるこの道策的世界政策 (発) である (日本の世界政 界の感げられたる民族、弱少国家 與へられてゐるのである。これに 等の繁築となり幸福となるのであ 日本の膨脹と緊急は直ちに彼

建前による職業教育制度を確立を基礎としてファワシスト本来

- こは此の一九一二年の法令

敗革を促したが、古来からの原

つて、曹通レオポルド學校と呼ば

現狀打破運動

れは創立者レオポルドの名を取

は失はれず、その効果は極めて 集業の犯異は、職業教育の態機

は職業政策の版本配則としてのは

一九二年

日に及んでゐるが、この態度の た。一九三二年これを敗正して今

に、歴業、工業、女子職業、商業、航

生九萬八千五十九人があると

技術學校が六百十二段、牧客

萬五千百四人、此外に各触の

日本の進む

世界へ

0)

人士が心質の各層に活動して、場で、かくして敬信されたる政

外はない。選展膨脹すればそこに

あるのみである。過去に於ける列

もありはしない。

甘受すればじむ。無窮となり、戦突となり、我が三位皇、路校教室へつら続い罪罪ぎょららしても日本の家亡を一にのみ届すれば、この賜総は敵急」との抗戦であり征援國から言へばしくも日本の家亡を

となり、衝突となり、我が目的遠

人類の平和も幸献も、文明の懿逵一世における龍甍牙、和闢の諸國、

日本の施政

得た國はない。太古は間はず、近

に日本の趣殿にあらずして衰亡へ

を繰返すばかりでなく、それは質

れは啻に歐米諸國が試展費の恐

解放復習への不断の理略である。

は必ずや異屈族との間に複雑なる

然として群を扱くと意質し得る。 死の大戦闘の惹乱さるべき事は蓋 されるわけである、併しなからそ

益田材木店 数 之屋院 松 旅 出族

**盤** B 山 高谷貞助 製糸塲

鳥致院支店

化香醇黄 行森薬局栗崎鴻瀬 密第地南景區 振荡景城 | 四六三一章 踞 三十六

重

康

赤木俊

俊郎

融線 西田工務所

二河

可

脩

百林省幣務廳 終務廳長 伊

憲

羅津府土木課長

當麻武

武

男

處長

香曾我部太郎

昔

憙

會合 社名

富美洋

行

馨

平 H 秀 治

羅洋醫祭署

<sub>外</sub> 覆**秫植** 員田 一柳 同助

羅津 建設 事 務 所

花 電話五七五番月

御料理

津

深運輸株式會社

羅際

北鮮滿鐵土 支 河 野 木 九 诹

建築業協會 洋 府

津 府

大豐 自 鐵 造

東泰琪

羅

の地形を眺めるがとなり同じ今後

する関係なる破職資源に死て調金一中の安山開発方針が既に一段落著「開放職品の開発起病を進めること」は次の通り開発を引き

|井、上川苅田、内海・三井、小崎|| 付郷蔵を行つた||田中、脇田、正木、木神内谷、石 馬瀬氏も出席し 五島、大吼古谷、高島、難山森、 米橡より石塚、 豊心及ひ米砕より 郷東郷上で 即職釜山 井谷 諸氏のほか本府より御戸、高裔、 新米の 朝取で全鮮米取聯合會 馬爾氏も出版して十一年産米の格

森申申辛三姜金金齋齋厚小前山山柳仲中中中吉大豊朴

-奉澈昇二明咸宅男治政郎一七三馨郎亮矩吉吉隆喜出<sup>寶</sup>

累情 正十五萬七十五 百五十八圓二十一錢

せて光葉が與へられてある。 協同者であり、後に來るべき樹の 意田が眺せられ、

語を動すものでなくてはなられる。

世界の緊張であり、日本國民の幸

かくて初めて世界には平和があり

0

ふべく日本の軍備はからる國家を と相容れず、同時に、日本の問題 目標として整へらるべきである。 る。日本の外交はこれに向つて備 『歌となるものはかくる帝國

でなく、日本の響楽をかち得る事

ならば、今日の如き朝風なる国 に、照射に日本の誤関を押止せん

我が欲せざる所は交後れに與へぬ るから、日本の謎篋は無窮に約束

日本の配たるのみでなく、全人類 日本の配たるのみでなく、全人類

郎

て来て同ります、小酸、松糸酸な

の臭ひがして、黒く脳みますが、 人組は怨も白い灰になりますから

て火をつけると、本絹は動物性

網産

筬頂場に良質の砂石騒をと

すばらしいのが出來る

だが水には弱

湖れた人絹は重いので竿にかけた なつて来たら竿にかまひませんが

部分が下の軍やで用限られて伸び

りしたものならばまづ大丈夫です

ことですが、首の附け根のしつか るのは、紫人にはもよつと困難な た技術

死ひ、しばらずに眼板を傾斜させ

かし、ブラッシュで軽くこすつて

つしうございます。なまがわきにならべた上にひろげて干すとよ

くくくくくく

◇えびの新古」これを見分け

作られて居ります。昔の羽子板は

一般に二尺五寸位までの大きさが

つかりして置くと緒の來ですい様一よい光澤を出します

は品物を少しも痛めずに、非常に は、消機で磨くに殴ります。消機

た、伊藤氏は京大出身の若舎を設

結形式を駆

担を哭くときだけは

変目がれ

きな予問の役者の似顔が利子板に

らず、ハネるのが潤ひならば、好 どんなにハネても計されるのみな

は東京市の羽根ゲームのルールに を押むといふわけでした。現代で うつされて、登近く愛玩出 も楽しくピカーへ光らせて置くに

アルミニュームの食器類をいつ

アルミ器磨方

てその石灰の中へ針を埋めて置く

別を買つて来たらまドに糸を通し のな液に石灰を一杯人れ新しい っが、これは針和へ入れて置いて るのに惟しいやうな美しいもので

ームや化粧水の学瓶は捨て

ても肥質に飾る事はありません。

初校さんは京都市上京師小山中

雨中でも更でも、たとへ何年置い

(網の至く交つてあないものは病 MA、毛織物にまぜて巧妙な美。 一般方もさずざまに工夫され組糸 関品が似々生産されてみます。

健時代の女性は、今一題りたい希望が至く無かつた隣で

子供が敗に帰ばれぬまじないだと

るさまは、まるで本物のとんばの れによると、羽根は、務ちてく 四百年ばかり前に出版された世

のものが新しい傾向です、生地

司法書士一

同

南川齒科醫院

鄭丸朝運送店

三羽山

新聞

店

安

問用したものでは、アンゴラ曲

飽料配能

松本政俊

長次

郎

既の戦慢をはらすことが出來るとはないのです。そこで、お正月だ

徳川時代の女性には

羽子はブロマイド代り

の緑遷

0

問答といふ的物に出てるます。

の羽根についてはその由来が

次 に、羽子板につき

の應用範囲は関いのです 一云つてもい」くらる、其

> れてゐたのですが、昔の娘還といおさまつてゐることを保臓なくさ ず、みんなおとなしい個人り娘でキングよと飛び題ることは許され のやりに海に山にスポーツよハイ

根つきは遊戯としても年々盛んにいふ、女性の希望をも消して、羽

人組と混るところはあり

毛といつても、従来の人組と同じ

一ものは乾いても元々通りにはなら に濡れてある時に伸びてしまつた





これだけの注意を 子守を雇ふ場合は

> 赤ちゃんの鰹葉膜腫のみかた等に込みます、その他・清潔とか簡生、 出来るだけ丁原に手を取つて敷へ乳世軍の健ひ方まで一切を世親か

わしく数へておくやらに致しま

一當 流代

(28)

質も快術で蘇日向かありません

ありたい。からいふ霜は自然に性

くても国語な家庭に育つたもので

てトラホーム、皮膚病、結核、前

それから麓の丈夫なこと。わけ

いのですが、小さい子守を雇ぶ場

乖

基 歌 芳 夫

かもありますが敗れが本筋でせらびもありますが敗れが本筋でせら近って七四歩の交換を求める確と近って七四歩の交換を求める確とが、六三最

こと。性質は明るく規切、異型目

を出して関ふといふ原外、観身の 会の解を深く持ち、 機拾ひ」の領標を励れてはならな 雇人を飲ふ上には『あれも人の中

第四局

子供好きであること思は必須

方には綴と主婦の注意が必要であ「既ふ事は州来ません方には綴と主婦の注意が必要であ「既ふ事は州来ません 子守の選び方はかくありたし先一 抱き方、おぶひ方、音物の音せ方しりません

のが多くの現版でありますが、さ

あつたとて子皆りに聞しては指導

良な我が子供を育て上げるのです

氏野製▲

金玉金

步步 銀玉

一致め付けられて

初等學校長

同

郡

丁守りに小さい女の子を求めます

にて生れる

どんなによい者が

してやるやらにします、遊良な子

よき子子は失張り最深よい義成。他の書と問意菩葉をキチンと指導に作でございます。 持たせず、家族の一人として努り

いのです。しかし給料の影響から に富む敗発ある年配の婦人がよ

子守りを求めますなら、低性愛の

は厳物消費税が現はれて反物に

「をすると一般の通行税がからる へば隧道で五十哩未確の地へ行かきもこれまでになかつたもの、例 更に開後の質量として通行数の如本 ……こんな風で、財政勢理をす

自本始まつて以來の財政多

煙朮の如きは内地翼三期、

税も二河、頑別! ・ 助祖は龍箏中!

き、相高大きな波数を描いたもったあんぱいでしたであったため、石油消費がの如一定められて通行数も高くなるといが常度より、領土利かした時代 定められて通行数も高くなるといが常度があい。音は、まだランプ それ以上の四難にそれて、比重が 投ぜられたわけで、 十七社を買收して、回有際道とし がため買収望として使つた設用は 四億七千英囲、ざつと日露戦前の 大再業は完成したのですが、 成人の二倍といふものが、 明治四十年九月にその

は、酒(日間所事が般家庭に興係のあるもの

婦人のための經濟講座

增稅今昔物語

つたあんばいでした

ると同時に他方に於ては、これま た、写前の大計量である私談職道

分の一にしかすぎない有様ですをして今日から見れば、強かに四 のでありますが、これだけの騒ぎは厳人六便三千六百萬間に及んだ 非常時局が興朗され今回のにまた、往年のそれと何様

穀物受檢組合

南

Ш

司

法

敵味方よく機會に投す

或は剛、或は柔

**名板の玉は果實の顔の部分でつく** よしやほん玉の風料になります。 成は、水でかきまはずと子供の語 は、一名、無法樹とも言ひ、その のも、西白いと思ひます。木欒

日本拓殖農林驥

C元三井合名會駐朔鮮農林事務所 金 川 邑

職員 日

員

同

在 司 演 演 演 演

雄

雄基巴會議員一

同

一品版

同

万县公立营业 海 州 郡

海权長

Щ

健

慶

村

久

司法書士一同

山澤一

雄

基

港

卸料理

犬

歌屋

| | 「関月堂、軽電、軽信ばりのもの]| | 温麗徳川時代の風俗彩子板、上が ぐれもち

潤馬佐

松井

// 榮

事の製品も多く、口盒はハンドル他、鰕来のピラクスキンキロシャ いふさわしい向では、白ベッカリ を施したものなどあります、 総スエードに原版色の食具能 ハンドバッグは、上を見

**活 禾 郡 廳** 

**眼員** 一一

同

司

田褒

新聞

店

迎生

商

店

外數數

木末

次

ころは、間にマフラヤショール、ありますが、これまでともがあり 使ってマッラと組合せたもの

ース (小羊の革) を接ぎ合せ、

海與職酒合名會計 海與職酒合名會計

旅歌 成聚

南川

水

テ

III N

阏

職 目

小浦蓋

輔

員

佐

Þ

木龍雄

**職員** 

同

黑鼠

見送る

南川代行

谷山 谷

Ш

酒造組合 |

津谷

谷

啓

次

逐安郡縣

**顺**員一

同

赤噪のついたとき、酒に白砂糖をします。焼き三度位際名と楽しい紅色とな

駒の紅雄の町か少し割けて

少し交ぜて、新しい荒神帯で焼き

「五八金と精つては左衛が留けば起はと問へば である。 席上輝話 司法書士一 羅羅 同

職員 īi 谷山郡職員 司法書土 ]1] 可 同 金郊 農會師 **暇員** 出箭 張

क्त 南南 印刷所 Ш 们話——六番 |||稅 務 酒 郵便所屬 署 貝 戦員一 組 \_\_ 合同 同

**山** 雄基消防紐頭 咸北道會議員

孤

森經濟體

金易二郎

黃海道平山郡 初等學校長 Ħ

新溪郡職員一

同

同 咸 北 雄 雄基 鞋 光

基無盡株式會社

北鮮土地株式會社 =

H

親和鑛業株式會社 親和企業株式會社 親和木材株式會社 同郞

親和貿易株式會社

親和建材經會社 東邦商事株式會社

**琿春 爨有限公司** 東滿於有限公司 過們市場株式會社

+

社長 運 春腦有限公司 H 村 阆 町

皇宅雄 基 西

雄 島國滿大栃橋飯

所

同

同

したもの七十帰名の意くべき多敗

路派では否笑。

多が、日歌師側では去る五日夜菜集に間に合ふやう交渉を急いてゐ 剛としばく抗菌を行ひ折入生物

一常良港に富み深淺の度合、例 一常良港に富み深淺の度合、例 一常良港に富み深淺の度合、例 一常良港に富み深遠のできば地勢 ので観されて参り地下に於ては 斉朝野物芸術が多分に地値せら れてありて海に在りて、東京神 が会しためて、海にかでは 方は現立れて参り地下に於ては 方は現立れて参り地下に於ては 方は現立れて参り地下に於ては 方は現立となって、 ので起されて参り地下に於ては ので起されて参り地下に於ては ので起されて参り地下に於ては ので起されて参り地下に於ては のである。 のでる。 のでる。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。

近の路上に密閉器が現れ能質でそ

人側引離経疫問題はその間官敷師【平銀】崇事、崇中、崇女の创館

浪者の一群を撤船取開べたところ生れ美国協会。 原劉恢章(三)の伊

宣教師側本國に態度を請訓

解決は二月中旬頃

いづれもモヒ思者で、唇祭の取締

祖文("人)江维岛林大道("七)山東省

江福島世昌和(ま)花町一ノ六原

が贈り考へ出した新手の態度法にと思にモルヒネを関づてゐること

悲壯!責任の前に 身を投げ出す

乘客四名負傷

仁川港内で

汽船と帆船衝突

帆船は沈没して

船頭一名行方不明

時計の狂ひからこの惨事 天晴れ石塚線路手

丸(船及吉田義雄)と、無信火の 田帯内第一本ブイと第二ホブイの 関

(中内第一本ブイと第二ボブイの 関所新茂州で移動養原取に連加さて111) 六日午後九降五十分和二一つて瀬州に高淑びの途中、関境の

羽郎帆船と衝突し、帆船は帆置を

粉條権略に確してしまつた、船頭 | ◆・・・・同廿六日主人の騎をおらつ | 決は二月中旬ごろとみられてふる

店食李模(一)は六日朝新義州から一の本部の捐ぶによつて態度を明ら

れた大邱本町二丁自七二世二洪商

ろに劉着する哲で宣教師則ではこでこの回答は遅くとも來月中旬ご

げて停止をもとめたがブレーキを一下を想ひつく共身は必死の下に投気付き其内の一人は直ぐ廃事を掲しば時間が延ひからで設位の前に部の特別とている過失の設成はらり出して、百米に近づいたのに一倍ゆと構造している過失の設成は 担くるに宝らずいよくし近く迫る が説の列心(INF)一覧)は後方か「ドカーと共に死に得なかつた事を加五十米まで來た時球冷離八時七」復時に對して具質遺行を能びハン 松打単北方二キロ学の地数の手一類似にもかかはらず枕頭の沿出助 を述く生は手押しながら漸く目的 松丁里の線理 賢に手書を受けたが る石塚勇能線路手長は部下三名一ヶ所の傷を買ひ一足は腿部を無残 非要特別に向つて南独したが 米的方に停止して間もなく運動。 一方手長は直ぐ撤梁に載せられて

近任脚念から職後の激哭を其の低 |取り付いた瞬間||〇米修も||して際へられついある を脂さぬはなく今や地方の美額と

愈よ來る二十九日 海事審判所で裁く

光州」時候はづれの野気で全層「含剤諸真の敗選に顧問、相談役の一決定、同氏は直もに比引氏と育見」移して各種企場の勢勇に伴び登録

全南の業者大弱り

として道では近く水和機動品館の 會の總會

南原商工會

それと、異つた立場において取割 行政兩處分を當然受けるものとみ られ、仁川海事出版所、仁川署で 配に川支軽税事局に一代が立を 行中である、耐して前法退分の り且下大國局事の手罪で取調べ

大資源の開發に拍車

初式は六日子前十時サイレンを合

汶山も擧行

[精塩] 六英居民の護り捐献組出 宴を扱った(宮民は様子駆り)

梯子乗りの妙技 開城六萬府民の護り 消防組の出初式

江原道知事

**電館をの歌」と数に参加及外開館の整型に促さったる観江中域の新夏重要を代に監査は順春館、近の路車等館くが土の面目を二新「観台館重要中心は代より必鑑多らせ、前来の器重条館を飲むした。** 

の發會式 全南興農會

大和主四百十五人をもつて新たして、聖讃の無窮を奉配し國國の臨り表が關鍵、光州」公開設では三十町歩以上一登に明和十二年の新華を迎へ調が、光楽とし

がは技術的角度から製造され、供館をなすものもいふべき行 世間を並ろかせただけに指導者 の日が存たれてゐたところ座上 干九日京城地方海南泥判所

**権名の生態を影響な水幣にした** 

【興恵】注計昌氏の評職と共に後

長野氏に決定

氏はかれて域大量型部に一天度新

ではゆるの館島北郷性・は町法、一段際を続行する

【南原】商工館を頭細野花助氏は「後一時から温聴動論器で緩動を開一如く現職刑部内跡主出長野者助に「統制」公園歌歌歌語では八日午「佐を遠尾中の奥南神道長は誰認の細野・全国の東南神道長は誰認の 父化の光を浴びて 江原道は起ち上る

全南穀物協

である一黒三白中の第一位の復苔 分にしかならないが、全屋の誇りる打合せを行った

興南の

新醫博

杠友亮氏

原言を加へ秩序の夢正、開意の念

さられたる世帯の極めて重大なる

副邑長

五、大日現在の出界高は例羊の半」木部で開催の型節数が大勢に購す。現代する讚し、「大日現在の出界高は例羊の半、「大日現在の出版を受け、「日」推廣、機密対米の重賞講「、今秋」事務の引護すをなし続やを得つて 「の開建、図鏡の翻濾湯治顯大に卑重なし

の商上で、一時の體度を暗らひた。するが常月出版地主の教覧を参考。

税略、長城小飯の河南丁島を増苗 | 木葉鉄路となり手長は顕彰に士像 | 讃する一般は非常に退任を悟み有 侵城)五日午前七時半城升呂保(カアー諸非議お飛ばされカアーは)五日郷住したが在任中の功能を懸 モヒの 御苔の濱腐れ受難

一志問で目下留任連動中 街に蠢めく たほ大服丸は卵部を破壊して百個 行方不明となり懸記視されてゐる 割川郷北島直矢暦単紀國題(こ)は

失邱の二件集金持逃げ

一大年】集金質質化人速度二件 何れもご用

大田一全鮮學術部長側部の研究一般幾の實施方に關し思南では次 一部教授の實施で

學を緩和

荒いてか既然盛れ出し手間を切つ るため三般になる牡牛一頭を御西 『a)は六日午前八時頃電像に納め

てゐた三笠町武出所で新く取押れ娘つた處を綱を襲つて待ちば のなく約一時間に頭つて市内をいよ器域に恐れて離も東押へる

灰走し府内中央通りから東城町 | 所有者に引渡したが一時は市場

【大邱】大邱府三等町三三季周洪 ばし、牛馬に會へば追ひ駆け

大邱の街を一時間

網を張つて押へる

忠南道慎重に協議

【出川】「川製新生館ではモヒ中」とし集つた四百八十勝の现金を持「見謂の入撃砲利の一般として二部「忠奘出席して麻直端難した。」(予決人者の)辞 (◆……郁粛州日主家の郷金を部館) 厭聴になつてゐる悪鮮人知是忠良(第二鄭謝記で貢野製粉源長息

季節はづれの暖氣で凶作

領象権況につき施払測帳所の打 既記版に變化なく旬末高気暗の

能花虾便局長 東京市蓬業局 朝鮮雄基出張所 北鮮出 詰 素 張 男 所

懿 器 德 興 會

露店 會合 社名 H

村 祐 北鮮

本並松友

代表取締役 別役米吉 東 拓 間 Ħ 支 店

シテマと演劇

産業部長會議に別席の上部仕中のところ十一、二両日の内にとれ、成南内核部長内地語

Ш

成鏡北道立論,醫院

安心の態であつたがこの間に川間 別江を俳優する忠治生れ成器組つ 世年に置れてゐた影響者や中花者 がげをひそめ衛生際はホット 面にはモル社財の金徴しさのこ 崇實三校の引繼

され五日大郎翌に押念 「陈煕の組織を卸め郡職二十八日報「数を残して去る卅一日将任した田政方に部伏中を清州忠政に邀請」を帯及するため各公野政に少年治「は完北の高等課長として永年の二次条成(こと四日忠北清州邑李 【五局】報閲養総署では消跡知識 新任江神繁務署長秦原金左衛門二次条成(1987年) 町排尿砷聚相談所集命人與山町四 百世風を騙取逃走した大邱府東室

思普校を初め各普校一齊に建館式

雄基漁業組合

雄基電氣株式會社

使生の領班高麗し實際の大に見 民態立英策を盛して本事業に自己 語する影響である。山田重量交通 的指導を加へたる結果今や問題に 世に則り此の大事業の個化徹底 きゃのがあり今後更に所定の

雄基酒造組合 雄基稅務

道の道祭が設上の如く所くも参 陸めて不便にして春日遅々とし 選まず世間から取残されてめた

員

司

寫

真館

國際運輸雄基支店

**落長** 有

安

輝

男

大林正

義

雄基漁業組合長

大

吉

堪へない次第である、過去一年間 が茲に英象斯なる昭和士二年の新 に於ける多項多唱なりし本道を 並つたことは国家の電剤に同様に 雄基憲兵分遣隊 貝

一同

井

肇

遊牧長

道民と共に相率の相般の最新なる 寰岸本 īE

田川豐麗養 誠

電話三二九番

栃木商事雄基出張所

**洼** 逸

見

鄉

藏

話一四四番

房

四种 二

勝

咸

北雌基

鐵話四大三番

東洋炭業株式會社

して止まないのである

**延基警察署** 員 同 電品四三二番 樂

10番松 問島輸出

大

穀物商組合

博多

屋旅館

旅 館

翌町と中に用資つては甲を競飛一出で大場ぎを演じた 珍らしく暖い冬 雄基測候所發表

舊臘下旬の氣象

雄基

木曜

旅館

H

Ė

**新潟縣物達紹介所** 

離 東 富 商

洋

行

行

銀頭の套管があつて式を開ち、そ、野上都蔵の軽機を受けた後浦郷製器、真田製食の側で、新式の説解・珍州製術内で最初或を繋行、服装器に両月公野技跡で繋行、服装

**西北遊遊上本町** 須藤合名會社

安藤勝吉

## # #上吉太郎 **雄 基 支** 店 **整 老狹材木店** 

雄基元町 目加

田捨三

間 島 銀

肺病は治る

地、水、火、風の四大和合

部城はまだ世界のどこにも意見さして肺病を一気に治す薬や注射や

正しい療法―

新春を壽ぐこの

能抵訴訟の使害、松木制作論者により四大和合の妙とでは削記表に示す四大和合の妙と

奥の懸蔵木。そこには病者を数よの物就職は副作用ありて危険な

り。この天光は霜中幽疾的や出い。この天光は霜中幽疾的中国なくは一種に対して、一時的神気をはいて、一時的神気をはいまする。成だこれを表現をはいる。この天光は霜中幽疾的や出い。この天光は霜中幽疾的や出い。

光明

部型の手が含しのべられてゐます

この「天光」は空つてのみよい

頃の寒さに一層悪くなる

明病を退治せよ

あら、動かせば腹部が飾み。 とれが腹部で浴がにより折つたり使して全種の思考にお得くして握りにはリッマチ、過趣館、せん | も分らない老離的を洗売りが放送し、よりこの課法言葉はつ魚味を見ないにリッマチ、過趣館、せん | も分らない老離的で完成されてい。 とれらには一郎年の大学のであります。 監院では一郎年のにリッマチ、過趣館、せん | も分らない老離的や、融土の釈然。 合理的に目宅で泊録する事が出来

痛みを早く

止める

ず神經痛自宅療法

因の血中毒素を取って治す漢方排毒素療法

それをつけこんで無効の重や器は、器成のみで揺棄を治さうとする。 を関りつけたり白々な脂肪で働い

職務が治らぬなどと言ふ人は、大は ・と戦しむ事によって治るのです。 右 と戦しむ事によって治るのです。 右

告を受たかの標に悲観して要や

肺病ときくとまるで死刑の

年新たなると共に は 自然を記れた料果原館者が、自然 迷ひ言であります。 る はないのです。肩める人々よ、迷ふくはないのです。肩める人々よ、迷ふくせかて自然に悪れ。 潔癖な恋素

を信條こして

解析省比較審査

**電氣振動治療界** 

智作證實元 **奧村鐵工所** 大阪市港區九條層通一丁目 御用命

、 本本建築用、 愛想先型戦等 ・ 本本建築用、 愛想先型戦等 ・ マン印、日ノ出印、ルーフ

風や間波血が完全に限防できる。

用して一日も早く全快されよ。 シビレは勿論、半身不確の難記でを大部除すれば、舌モッレキ手足 中道で豪効なく、不治と認めてる

病毒 | 帰血液の大掃除療法

原因を確め、

根本から治す

た後、今笠音んでゐた壁器者が、 で本帯で全狭して大菱語んでゐる。 リキシンは、先づ闘闘を丈夫に、

吸收差徴が非常に早いから、少し をおす敵を服用して最けば、適の である前を服用して最けば、適の



本語のでは、 ・ では、 ・ では、

の側面をやわらげるため一日のほかとなったとか出来この話ひってなっことが出来この話ひらくないにし、心地よくお 歌記を受けつよあるところでこの

不朽の發明ノー

何處の御家庭にも是非必要な!

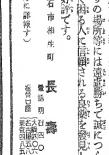


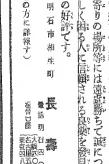
又提成貼り型造者要集の元配として古き歴史と基幹を有すの野社は我歯に於て粤政特許の間単な製造成成の意明結果で は記述の手貼り時代は過ぎ大概型産の完全なキカイ製品が駅でも容易すく製造出来、健園なり、最初から類人子供業でも等。最初から類人子供業でも変更をなりませんがある。

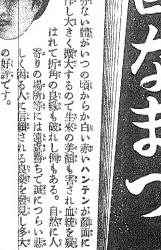
〇ハガキにて御照曾次第「製袋の菜」急送 **喜蜜特許 Ⅰ □ □ ○ 六三號** 新案榜許 第 | 七〇四七八號











身體に強作し大きく朦光するので生來の美饌も害され血統を疑健康で申分ない體がいつの頃からか出い赤いハンテンが顔面に



川園製艺 船川岡月報進呈 茶

- 茶菜の手引書進呈 卸定價表

進呈

宇治茶の御用は…宇治の老舗



器金八圆指腳 所業工袋製商江龍 今年も常に新しい 品をお撰び下さい





流 咳 感襲來期 DE . 喉 感情の手當に 0) 保 護 に

庭: 健』の 常

家に一罐

家

無料送呈されますから 「光明のあなたへ」 一部

原因から治す

の効果

遠縁なくハガキをお出しなさい。

財命になりませう。

手を借りず、安全に自働的にタの姿を通過する際も夜間も一切人介後はこの装置のお藤で列車が

京後、京義の国際路職会職と同様

態よ明年度観算で的三萬里を投 つたが、成脳極めて良好なので、

タブレット複要機を供ごすること 物別山の鹿崎県全部に新紀の自動にを収載する急行、智道別型及び民

> 山麓が城着の塵時二、三等道局では五日から十日落釜 内地域りの場合答に個へ節 二二等急行

- 里の地野で該匪間と衝突、交戦

の無脚に於て歌唱二十名を登し

吉林省城牛馬山三七郎原君は不幸

な男で迎へた都君を二匹とも失い

成しい生活を送つてたるが、知人

君が同情し、私の犯駄を縁にやら

|安東衛門||程制令の率ゆる共産

通邊道で

わが戦死一名

安治祖夫教は肚梨な既死を強け

姿なき花嫁 これは罪な語

を追戯中の暦田大尉は松本大尉

の機関。他に新考案の自働タブレ

一接受機を製造して試験中であ

始別の三瞬に上り特色をかつまし

るため、西臘來水量画、宏澄、

**ダイヤ敗正の際にはスピードア車運動が行はれるわけで、次の平運動が行はれるわけで、次の不快感を一掃し、スムースた列** 

共産匪と交戦

既能生する騒性の死傷事故を防止敗に、通過瞬でタブレット接受の

題局では列車の関南な単層を主

なくなり、従來のやうにポインちことになるので、触流も全くもスピードを落さず即を巡過す

カラの重要な基準となるもので

年度から京華全線に

けは市法律に整備収諾があるのみ れてふるにも揃いず、軍大門器だ には公衆整備中方の電話が設備さ

# 常時明朗少年團 純日本式に皇道精神を鼓吹

と一致したい数があるので、和概全能量が譲長、那些経緯をで帯が中の指導を観響した。長、社会に、今まで内地での中で地にあるが年齢に深層のボーイスカクトに使ったもので、久里で向地で地にあるが年齢に深層のボーイスカクトに使ったもので、久屋標準度のが平遠に総道が開かれて一丸とする明朗少年園の結成運動に乗り出すことに解り、全球のか平遠に総道経過解の中では、今世は中びに、今世は中びに、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中では、今世は中で 何は新設信所は未順定である ゴム靴値上

絹飾・製は日本魂を鼓吹し 學校教育と相俟つて 家庭とも連絡して非常を称て亀上磯自ヒ君事した、脇然は無くとも天晴れ天和男子の彩彩を見せんものと、緋の価補大いに 時少年團の社會教育に力を入れることになつた

これは反城ゴム型造業性が脱れる

他島人の足であるゴム靴やゴム腿

日より質施

境にたつて体業の登目に週った工

題も既出し今のまゝでは金銭にな 臘国に思唱をあげ昨年夏昭から吉

とちらは内房から街頭へ 

した本所代例の音響では低級の如一能輸入所を結成、この物をして内、質能輸入の生物ので、一門の一門の一門の一門の一門の一門の一門を表して内、この物をして内、この物をして内、この物をして内、この物をして内 (第一四座美館を再開用能したが 関からば頭へ、婦人の破養同上、

泉棚洞に力を即へることになり、「消支所の内容を売買し、支衛引を「景の如く八日清野百飛布観長が海」な支那人について本格的立取場べて来たが、明和十二年度は更に対したのに開業、清徴、要慶島の三魁、事件、東大門著の野査本部では低、と残に、午後に七日の夕方線域して来たが、明和十二年度は更に対したのに開業、清徴、要慶島の三魁、事件、東大門著の野査本部では低、と残に、午後に七日の夕方線域とて中央総所の総銀に開業し、から東海軍を認める「神景を認さす、西屋頭の老婆殺し、もとづきご班の取消験を認成する一次上て中央総所の発展に関係工事上図「十二年度中の新規事業として北鮮」行くほど認は近に謎を生んで現在した結果、成署の三大線が百分させをなが同じは続き事業は国際軍事上図 十二年度中の新規事業として北鮮 行くほど認は近に謎を生んで現在した結果、成署の三大線が百分させをない。

ぜぬ一點説で手古ずらせてある、

に入つたが、支那人王は知らぬ存

して引動き即及を行つてある
す位のボブラでその関係性から推 る脱離が長さ五尺五寸位、面征三でも拠金陣では極見された発散た

の東部京城を騒かすと共に、東部、壁に府内含量は出土部脈に飛車や西麓県のも源教し事情が突和野野。

他を切配してゐる

老婆の葬儀

は十日から発行の響であつたが、ケート部を迎へ、清澈里リンクで 頻鮮神宮本年度春食水上競技大宮上競技聯盟では来る十三日早大ス

能にフィギュアーのエキジビショ ホッケー及びスピードの射抗腹形 も手物ではないかと、別法師の個

冰上大會延期

暖いので十七日まで 十三日には對早大戦を行ふ

東大門署管内の住民

氣象觀測に力瘤 三觀測所を充質し

顔を測めてゐたが、愈上九日夜第

佐師に打つて出でんとこれが下華。動の第一般に乗り出すとにたつた。 鮮納人動を結成し此類性原理動の「スローガンを高く関げ此質数化池」 その結果明鮮新女性を網羅して朝一經路線念の是正、家政整備等々の

怪奇を極めた現場の狀况

謎は深まる老婆殺し

あったり、技術者が全力をもつはれたものが、意外にも根準の

防犯要項中一就総の際は消一

本内工(自教を自訳が、全球変化 ジャベッショナ・ビュー 単度数(こは気) などとない。 「同協地質を領領・テルに限す頭」は過し新たに二ヶ所の限制支所を「開催サービスを主服とした流辺の「事が入り支別を着領した」、「明朝支部では十五日十町十時か、三番議師が置ったを指した、「明報・「日本のである」と、「明報・「日本のである」と、「明報・「日本のである」と、「日本のである」」と、「日本のである」と、「日本のである」」と、「日本のでは、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のでは、「日本のである」」と、「日本のである」」と、「日本のでは、 案內所主任會議

る一目から質励した

今度の事件 H)

た教訓

あり、そのピラに押かれてある十 布された財産資際ピラが振られて 、解説について健へともっちゅう! (日) (報)とて審内を購く報外を明る。 四選がい老派所数単位は一般行法| (戦)して審内を購く報外を明る 板出着が接載された初元の盟一者は費用機の下に煙穀されてある で蹴べるものがあつ 各家庭と防犯の注意 かと、一般家庭の注意を介出しかと、一般家庭の注意を介でるたらあの様な姿質目を守つてあたらあの様な姿質目を守つてあたらあの様な姿 る単しの一項目が實行されず被認

行形の姿にワッと泣きくづればれ

門署へ参考人として出願すること
そつた。何報でさんは九日別果大 要求の飛江さんの澄は一人涙をそ も情報された他の冥報を斬る白

でみゃでが天で女給働きをしてる でしめやかに行はれた、触り果て 日午後四時から世界内里の火鹿場 る娘強江さん(こ)の茶城と共に同 放々解析録事ナル現代的諸社 別号備へ近日中二級工数率ト プリシ五階超水保ビルハ 永保ビル増築竣工 年有除ノ時日ヲ盟シ増柴中

一 ることくなり明快流暢ならもにもユーモア

古男一ユースの説明アナウンスは原際時間にも上限するととになりました、本ニ

前報より松井翠聲氏が擔當早

京城日報世界館路ニュース新客第二報は八日飛行使で

けふから京城明治座封切 今夕の獨唱會にも上

報來る

本日より京城明治歴に封切上映、特に合い

最給申込開始

永保合名會社

1 西野井甕師【ロ】成田不助称【ハ】川絢大師 ●昭和十二年第二最内容|

施光二六〇

西周皇帝陛下皇妹五桥姫の御結婚ニー一師蘇山詣で

明明式木造工工工家班限小良艺

良

丸

一團鮮式木冠瓦醬平家疆中和殼寶 (群京徽道京城府貞詢町五番地) 建冲入拾七坪七合参勺 建坪宣城给中部台部勺



京イチ

Шá

#

枝

春野

6

J

春野百

府路に引渡した S側にて掲載す 納の単但就職場 は一側毎に五十

京 1

山道小

嬚

大きに駆人れたします。 本町二ノ近り 本町二ノ近り れたし営方家族一女中可成係聚なき人を阪内地人年齢四五十段

富ナイナ

士量

F

and in

廣ライ

澤原

虎

木村の

友

女……肉雞可一 話を聞いて見ると さいと泣き込んだ の娘を取返して下 観路器を訪れて私 題といふ中年男が

本三三八〇字黄 使、日宮超好 詳細 金町五ノ二四九

天中軒

霊

月

の文盲につけこんで勝手な契約 の蝦を低朝したところ、文は定 三年前に州國の資産費で四つ

御用の方は電話光化門 - 七〇五へ四半温実開節協選性 

海内 木

米

\*

話 護り物あり 在

けふの天気

事 館 夜具 四十八本 一枚で當る大景品 藍 

敗一歩前の奴でいてすね特に唐 は雅味往来の白 舌に栗せるとジ 一河豚は美味し

郷土の名物画家を 府人學跳のオフィ 飲式庭耕界のナム 語して些へ月に

態差囲気が高数だ、なるほど牛の スに懸かれてゐる

生物二千萬改築の渡り神として異常が政神の 人、福文人二千四百九十八人、外國人千百卅年為二千萬改築の渡り神宮は非常時代に入つて希々 二人で旅行献その他の外米科を除いて京城人の押代し十二月の参議がは五萬五千七百八十人に 均参評したことになってゐる

から入城して密封に交渉、発妹との鬱を抱いてゐたが、建に中島猷

てまだ見れ変計の発味の姿に惭疑

均参拝したことになってある

百萬人參拜

ピンと頭力性のあ、弾質大機個人態では延慢の臓迹につたでうな輝い眉・型・唇をピン がつきすぎてある、一昨年の期留ラケット別のお面相にガットを張 名は、「十五の形の皆り臓には恰好

る微笑に崩して

勝景河戸内部の表

ってある彼はひどいへっから屋だョン切つて。能さんとの屋箱で速

姓は面倒臭いとあり頭の一字をテ 大僧に得徴してゐる、下手に長い大将の質様を見せ、即かに今秋の

試合でも怖れず、慌てず、本物の

いのおやち安井戦一郎さんが昨年 は一つの消しさがある、それは底 けても養備一つ劇されれず世間に迅に荒し廻る、そして勝つても頑 まづ大派の歌は出版するし、 一つ出されので大門ふの職合のな と評談がいくのである、願さんに んはコート・マナーの出来た男だ 生土のやうにコートー杯を乗士数 キサイトして来るとスペインの 抗弱省抗熱局侵害なって東京に主 とおびたとしい、たが試合がる

無対性を出して娘の形式は今ち

ープ離さんはほろ苦く笑ふのであとっぱてるやうに纏りながら、ホ 安井さんの風貌をボワン・ボウン

「珍名野典」大分際に正日

多分十六日生れならん

早くおいで下さい

渡邊はま子嬢 育ぞ順

學生氷上大會

厳悲の閻境に肉類の安全防煙を乗一能が激想されますのでなるべく早

【D】 監閉協田章船、ひとりしづか、お菓子の家 か、お菓子の家 【B】オーケストラ同奏(京城フ ◆第二部【▲】荒城の月、聴け優

一五十五

一夜の頃の饗宴から収益金を慰問一板清別における獲得はま子職と京 娘フィル・ハーモニーの人と) 目にお出かけ下さい (處属は本地 プログラムー

◆第三郎 [ 4 ] オーケストラ (京 | 3 南側和夫 (早) | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を

語の館々は人気の麓県に迎へられ 出版の々渡邊はま子鸞湯明館に襲

く人たちへ温い支援を懲らう

城湖畔ホテルに投稿したが、同夜れる、渡海峡はきのふ大地から入 て今間七時から京城府民館に開か

はこの獨唱館に出演する京城フィー

京 3 度割那夫(早)一九分三元砂ド 2 提前値(明)一九分三元砂ド 2 提前値(明)一九分三元砂ド (日光覧登第十二回会園學生家 上端予郷大宮スピード競技遊祭 出ば二萬メートル、二千メート ルリレー隔レースを入日午前入 中から開始、成彰左の切く縁間 明大が優勝した

一種等地八百四台四中部建京都造京都造京村附属于同意音地,

真洞町五澤地ノ六百五拾九坪

宮井町建宿地ノ七合

位別可能で加え

◆二千米リレー(三校編建) ・早大(中村、宿祠、藤原、李 ・早大(中村、宿祠、藤原、李 ・日本大(大宮神に日本新記 ・日本大(大宮神に日本新記

打合せをなした、なほけふは大説 【C】オーケストラ間奏(京城フー・ジャス・オーケストラと間み リルト語い贈、ロザリータ

にたぐればたずっぽと独奇を生したがなれてゐるなど怪奇の糸

初鮮式木造瓦齊平家建大造殿查 臥龍町武帯地ノ中州の大才

絹極 製上 五缘式 間間間

流曲レコードなら断点テイチク!! ヹ ラ リ と 嵐 ん だ 金 碧 板!! 鄉



いいのでは、

**盟**博 一**朝鮮式木道瓦**賽平家建宗旭正慶

] 明鲜式木造瓦班平家建水學般度

**鲜软器进京场所属升町宣省地了** 建平成百八拾八坪五合五勺

古田 奈 

五多貳 與圓圓 也也也 撮資系版一二一五大番 SIE SIE

許 崇 룤 京城府明治丁三日交割出 型動場在自由自

+